

春風駘蕩たる穏やかな日和に恵まれた本日、六年間の小学校の全課程を無事修了し、見事に卒業証書を手にした四人の皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。

この佳き日に、PTA会長様をはじめとするご来賓の皆様方、保護者の皆様方のご臨席を賜り、多くの方々に祝福されて、平成三十年度いわき市立大野第二小学校卒業証書授与式が挙行できますこと、たいへんうれしく思います。

さて、皆さんの心の中には、この瞬間にも、様々な思い出がよみがえってきていると思います。入学式の日、すまし顔で、きちんとおすわりしていたこと。二年生の学習発表会で、一年生と協力しながらやり遂げたときの誇らしさ。三年生で教室が変わったときの戸惑い。四年生として仕事をしながら参加した運動会の大変さ。五年生のときの海山ツアーでできた友だちの笑顔。そして最上級生として、大野二小の顔として、頑張ってきたさまざまなこと。

こころとじないで いつもしあわせを
つよくのぞんだら きつとつかめるさ
みんなふれあって そしてたすけあって
ひとのかなしみを わかってあげられれば

今年の音楽祭で歌った「スマイル アゲイン」の歌詞の一部です。皆さんはきつと、このようなことを思いながら、小学校生活を送ってきたのですね。そうでなければ、一年生に、「陽奈ちゃん」とおぼされ、「萌菜ちゃん」と抱きつかれ、「拓来くん」と、たよりにされ、「宏遙くんのひょっこりはん」と笑顔に向けてもらえるはずはありませんから。

でも、少しずつ大人に近づいているとき、こんなことも感じていたのかもしれないね。

自分がとてつもなく
ちっぽけに見えることがあるよね
自分だけが悪者みたいに 思えるときがあるよね
もう二度と 心から笑えなくなるんじゃないかと
こわくなるくらい 悲しくなることがあるよね

「レッツゴー いいことあるさ」の歌詞の一部です。これからはおそらく、こんな気持ちを感じることも、たびたびあると思います。小学生から中学生へと立場が変わるだけではなく、皆さんの心は、もっともっと大きく変化する時期を迎えるからです。しかし、

優しい言葉なんて 役にたたないときがあるよね
自分だけで戦わなくちゃ いけないときがあるよね
つらいこと乗り越えて いつか見えてくるものがあるよ
そしたらあなたは今より、きつとすてきになってる

そうです。皆さんは絶対に一人ではありません。おうちの人たちがいます。大野の人たちがいます。そして何より、今まで共に過ごしてきたこの四人には、強い強い絆があります。

皆さんの前に、これから立ち上がるであろう、たくさんの難しいことを乗り越えていくには、たった二つのことを信じればいいのです。

その一つは、皆さんは一人ではないということ、いつでも助けてくれる人たちがいるのだということ。そしてもう一つは、

明日になって空が晴れたら
自分を好きになって また歩き始めようよ

あなたは、自分と一生つきあっていくのです。嫌いな人とつきあうのはイヤでしょう？だから、自分のことはいつまでも好きでいてほしいのです。自分のことが好きな皆さんは、きつと誰からも愛される、すてきな人になれると思います。

次に保護者の皆様に申し上げます。永きにわたり深い愛情を持って慈しみ、育ててこられたお子様のご卒業、誠におめでとうございます。教職員一同、心からお祝い申し上げます。

瞳を閉じればあなたがまぶたの裏にいて
どれほど強くなれたでしょう

レミオロメンの「三月九日」のサビです。皆さんのまぶたの裏には、いつもお子様がいました。そしてこれからもずっと。

あなたにとって私も そうでありたい

お子様もきつとそう思ってくれています。お子様は、大野の宝として、これからずっと、多くの人を、強くしていつてくれることでしょう。

最後になりましたが、公私ともにご多用の中、ご臨席を賜り、錦上華を添えてくださいました、PTA会長の鈴木康弘様をはじめとするご来賓の皆様方に御礼を申し上げますと共に、これからも子どもたちを、ずっとまぶたの裏に入れてくださいますよう、お願いを申し上げます。

卒業生の皆さん、いよいよ旅立つときです。大野二小で培った優しい心で、人を愛し、自分を愛し、そして誰かを強くしてあげる人でいてください。皆さんのご活躍を心からお祈り申し上げて、式辞といたします。

平成三十一年三月二十二日